

## 委員意見に対する事務局案

課題	委員意見	事務局案
<b>施設内容</b> <b>小学校の自然体験の受け入れ</b>  <b>機能・用途</b>	<b>【国際青少年センター】</b> (1)学校行事としての宿泊施設として利用する場合、県の研修センター、胎内、高柳などの施設は非日常的な所だが、旧二葉中は日常に近い場所。日常的な空間で、どのようにして非日常を作って、仲間づくりができるか。ただ、一方で、日常的な空間なので、学校に持ち帰れるというメリットを生かせないか。 (2)胎内、五頭、妙高では非日常の体験で心を豊かにすることができるが、旧二葉中では、そこまでの非日常性は体験できないだろう。大きな音を出せば近隣から苦情がくる可能性がある。 (3)学校規模で、学年全員が泊まれる学校と泊まらない学校もあるだろうから、逆に小さい学校の宿泊に向いているというPRをしたり、中学校単位でリーダー研修等を行うのが良いのではないか。	<b>【国際青少年センター】</b> 平日の利用者を増加させるため、小規模校の受け入れを前提とする。 (今後の6カ年推計によれば、市内の小学校の60%以上が1学年70人以下になる見込み)
<b>整備・運営手法</b>	<b>【共通】</b> 新潟で成功する為に3年以降まで考慮した運営形態の検討が望まれる。 指定管理者による類似施設の運営では、スタッフが足りないというのが実情 <b>【国際青少年センター】</b> アーティストディレクターを設置した場合、芸術創造ファクトリーの運営に携わることになるが、国際青少年センターについてまで運営をすることは困難であるため、運営面でも両施設を区分することが望ましい。 <b>【芸術創造ファクトリー】</b> (1)運営においてディレクターを置くのか、行政が主体となるかを何時決めるのか。 (2)運営について、ディレクターを配置する必要がある。国際青少年センターと芸術創造ファクトリーの両方を見られる人を総括に置き、各分野に強い人を補佐役に置いてはどうか。 (3)ディレクターには名前だけの人を持ってきてはダメ。 (4)ディレクターを早いうちに検討委員会に入れるべき。 (5)ディレクターの必要性については理解するが、行政の立場として現段階での選定はできない。 (6)ディレクターのポジションにつき早急に検討が必要であり、ディレクターの選定を同時進行するべきでは。 (7)ディレクターとスタッフを早急に決めて、その上で新潟のオリジナリティや芸術の意味の討論を行うべき。業者提案の中で何をメインとするかが鍵となる。例えば、ギャラリーをメインとした場合、市内のギャラリーとの差別化が必要。市内でギャラリー運営をする方を公募し、そのギャラリーをどのようにサポートするか等、中核にする機能を決めて検討してはどうか。(アドバイザー)	<b>【基本方針】</b> 国際青少年センター部と芸術創造ファクトリー部を含めた館全体を1つの指定管理者が運営・管理する。 <b>【国際青少年センター】</b> 体験活動ソフトに関し、基本的方向性は教育委員会が示し、指定管理者が方針に沿った具体的事業を考える。 <b>【芸術創造ファクトリー】</b> 指定管理者がディレクターを配置する。
<b>整備・運営</b>  <b>ゾーニング</b>	<b>【国際青少年センター】</b> 国際青少年センターと芸術創造ファクトリーのゾーニングについては、製作現場と生活部分を明確に区分したほうが良い。また、子どもの製作現場の見学については、許可制度を設けるなど、子どもとアーティストの双方に考慮した対応が望まれる。 <b>【芸術創造ファクトリー】</b> (1)青少年センターとの融合は必須。 (2)アーティストはタトゥーを入れていたり、飲酒のイメージがある、分離が望ましいのではないか。 (3)芸術創造ファクトリーと国際青少年センターの複合化のイメージが難しい。	<b>【基本方針】</b> 分離型。芸術関係者との交流は共用スペースを基本とする。 <b>【ゾーニング】</b> <1階> ・芸術関係(創作スペース)[専用スペース] ※創作活動時間は深夜に及ぶことも想定され、かつ作品の保全と創作活動への影響を考慮し、自由な往来は不可とするが、日中は作家の意向を踏まえ、交流も含め可能とする。 ・カフェ・コミュニティスペース[市民も利用可能な共用スペース] <2階～3階> 青少年関係(宿泊・活動スペース)[専用スペース] <4階> ・水士アーカイブスペース兼ギャラリー[市民も利用可能な共用スペース] ・活動スペース<一部和室>[共用スペース] ※ワークショップ等で使用も想定
<b>収容(益)・起業</b>	<b>【芸術創造ファクトリー】</b> ○自助努力により、集客を上げることが大切 ○アーティストは経済的に大変、ギャラリーを借りる人がいるかどうか[価格設定の問題] ○民業を圧迫しない程度の賃料を設定 ○市内にレンタルオフィス事業の事例があるが、利用者と企業マッチングは難しい。 ○企業とアーティストのマッチングの場としては可能性あるのではないか。 ○デザインは企業秘密もあるため難しいが、横浜市桜木町に建築家と作家のアトリエの事例がある。 ○横浜のシェアオフィスは東京近郊の横浜ならではの利点、新潟市で取り組むのであれば、産業部門と組む必要あり(アドバイザー)	<b>【国際青少年センター】</b> 収益を考慮しない。 <b>【芸術創造ファクトリー】</b> 民業圧迫に配慮した利用料金の設定をする。
<b>利用者(ターゲット)</b>	<b>【国際青少年センター】</b> (1)大畑少年センターにおいてロシアからの交流は青年が多く、大畑の利用対象者(小・中学生)との年齢差が大きい。 (2)平日の昼間ということであれば、幼児利用になるのではないか。保育園単位、幼稚園単位での利用はないだろうか。 (3)小中高とした場合、放課後利用がメインになる。 (4)大畑少年センターは子育ての場がメインの施設ではないが、場を提供している。しかし、利用者は日に2組程度 (5)大学生の利用も検討してはどうか。 <b>【芸術創造ファクトリー】</b> 海外の方からの利用により、新潟文化を評価していただけるのではないか。	<b>【国際青少年センター】</b> (1)大学生位までの利用者を想定 (2)地域の集まりはカフェ・コミュニティスペースでは可能 (3)研修室等は自治会に貸すことができるという柔軟性 <b>【芸術創造ファクトリー】</b> 全市民を対象とした施設を基本とし、本市に関係のある海外も含めた都市間交流によるアーティストの招聘も対象と考える。
<b>その他</b>	<b>防災拠点機能</b>	<b>【基本方針】</b> 避難所のためだけではなく、平常時に使用するもので、備蓄用倉庫を設けて有事の際に転用できるものがあれば検討